

# 福島の復興に向けた 市民活動の動向

認定NPO法人

ふくしまNPOネットワークセンター

理事長 星野珙二

# 活動紹介

- 2000年4月 団体設立(同年8月認証)  
中間支援組織として活動開始
- 2008年8月 認定NPO法人(国税局)
- 主な事業
  - ①ふくしま地域活動団体サポートセンターの管理運営を含む「復興へ向けた多様な主体との協働推進事業を福島県から受託
  - ②福島市市民活動サポートセンター(指定管理者)
  - ③情報ステーション
  - ④復興支援スペース＋ふくふくプロジェクトの運営

# ふくしまNPO・市民活動団体連携復興プロジェクト(ふくふくプロジェクト)会議

## ふくふくプロジェクトの活動概要

### <第1期>

NPOのシーズと被災者のニーズのマッチング  
毎日新聞希望新聞欄へのニーズ情報の全国発信  
避難所への物資供給・生活支援  
避難者の情報収集・発信  
市民活動フォーラムの開催など

### <第2期>

被災地と復興の姿を巡るスタディツアープログラムの開発とツアーコーディネート

# 災害の大きさと地域復興への取り組み

レベッカ・ソルニット著(高月訳)『災害ユートピア』

Rebecca Solnit “A PARADISE IN HELL ~The Extraordinary Communications That Arise in Disaster”

なぜ、その時、特別の共同体が立ち上がるのか？

著者は、1906年のサンフランシスコ地震、1917年ハリファックの大爆発事故、同年メキシコシティの巨大地震、2001年アメリカでの同時多発テロ事件、2005年ニューオーリンズでのハリケーンなど現地に赴き、共同体の検証。

# 災害の大きさと地域復興への取組み

- フクシマ 地震＋津波＋原子力災害  
傷跡の深さ ⇒ NPO認証数増加率  
(震災前2011.2.28 震災後2013.9.30)
- 福島県：増加率 都道府県比較で第一位  
①福島県(136.5) ②東京都(135.6) ③熊本県(132.1)  
④鹿児島県(131.8) ⑤茨城県(130.7)



福島県の災害の傷は深かった

# 災害の大きさと地域復興への取組み

- 増加率データ
- 県内増加率
  - ①いわき(0.638) ②相双(0.417) ③県中(0.402)
- 県南解散増加率
  - ①県南(0.139) ②相双(0.067)

## 活動分野別増加率(母数が大きいところのみ)

- ①まちづくり(0.474) ②NPO等支援(0.429)
- ③子供の健全育成(0.415)

# 災害の大きさと地域復興への取組み

いくつかの課題：

- 1) 災害ユートピアにみるような熱さと広がりに加えて、  
制度で支える部分（例えばNPO法）も必要
- 2) 行政や社協との連携は不十分？  
普段からの交流・意見交換による地域ネットワーク  
の構築が必要
- 3) 資金、人手を動かせる規模の大きいNGO、NPO、企  
業との広域的ネットワークづくり
- 4) <フクシマ>の経験を体系的に伝える

一巡目のスライド終了

次のスライドから二巡目に入ります



# 地方共助社会の事例から

- 農村部の人口減少 伝統生活文化の維持困難 生活文化・コミュニティの崩壊
- 奥会津三島町 サイノカミ(国指定重要無形民俗文化財)10~15軒ほどの集落単位で支えてきた催しが徐々に継続困難に。
- アートフェスティバルを開催してきたグループ(よそ者・若者?)がここ数年手伝いに入って、支えている。

# 三島町のサイノカミ

御神木の伐採



# 三島町のサイノカミ

御神木の搬出



# 三島町のサイノカミ

御神木の設置



# 三島町のサイノカミ

準備完了



# 三島町のサイノカミ

点火



# 地方共助社会の形成

## 価値観のぶつかり合い

- ・事例は支援活動ではなく、自分の生き方に関わっている

危惧される状況：高齢化、親を呼び寄せる次世代、施設への入居 → 耕作放棄、空家、集落コミュニティ崩壊



価値意識の変化と多様化：震災以降、農村の営みに深く関心を持つよそ者・若者は増えてきている。とくに、大震災を契機に、新しい価値意識が芽生えてきている。

- ・農村部は、戦時中、疎開など、都市部を支えた生存のセーフティネット⇒震災後は、生き方の選択肢を拡大

# 地方共助社会の形成

価値観のぶつかり合い



新たな価値の創出



価値観の共有



ネットワークにより共助空間を拡げる



# 地方共助社会の形成

## 共助空間の拡大に向けて

- 価値観の共有  
価値観のぶつかり合いから方向の確認  
協働のベースとなるもの
- 共助空間  
自助・共助・公助という全体枠組みと相互  
依存性にも目配せをした上での空間拡大

# ネットワークの構築

協働やネットワークで、地域社会をどう支えるのか

- 行政や社協や地縁組織との連携
- 若者・よそ者の参加
- 都市部の専門性の高いNPOと地域密着のオールラウンド型支援組織
- 多様で、多層なネットワークの形成